



脳トレ体操を楽しむ参加者

第三十回

## 健康と福祉のつどい開催

3月3日(日)、豊丘村と社会福祉協議会主催の「第30回健康と福祉のつどい」が保健センターにて開催されました。今年は約100名の方の参加がありました。このつどいは

参加者の皆さんと、健康づくりの大切さや地域福祉について理解を深め合うよい機会となっています。

今年は約100名の方の参加がありました。このつどいは

### ①【地区健康学習会の報告】

平成30年度の健康学習会の実施状況の報告では、村内の各自治会で、様々な集まりを活用して健康についての学習

会が行われている様子がわかりました。

### ②【おいしい減塩】

今回は身体と塩分の仕組みなどについて学びました。減塩食品の試食コーナーでは、減塩かまぼこ(塩分45%カット)・柿ピー・ナツツ(塩分30%)などを試食し、塩分がカットされても美味しく食べられることがわかりました。

③【ミニニティ・サロンの活動報告】

現在、村内各地域で開催されているミニティ・サロンのは15ヶ所・サロンは

7ヶ所あります。

今回はそれぞれの事業内容の違いや、補助金制度などについて説明がありました。

### ④【認知症キャラバン・メイトによる寸劇】

認知症の人に対してどう声を掛けるか…をテーマにした寸劇が披露されました。また、地域包括支援センターの担当者より高齢者等の異変を見たり、聞いたりした場合の対応について、通報ガイドライン等の紹介と高齢者台帳について説明がありました。

### 講演会

今回は、一般財団法人健康福祉広域支援協会代表理事中村崇氏をお迎えして

「あなたが支える豊丘村の未来・住民主体の地域づくり」



寸劇の様子

という演題でお話を聞きしました。今後ますます高齢化が進み、健康で無くなれば、介護保険や医療保険の世話にならなければならない。病院や施設の世話にならず、住み慣れた地域でいつまでも元気で暮らしこ続けるためには、予防が一番大切である。健康寿命を延ばし、元気で楽しく生活する為に、住民主体の地域づくりがたいへん重要になつてくる。

地域の人達が集まつて簡単に  
楽しみながら筋肉を鍛える体  
操を教えていただきました。  
「脳トレ・筋トレ・脂肪トレー」  
最後まで気が抜けない楽しい  
講演会でした。



## 減塩食品の試食コーナー

## 理事会・評議員会が

このたび、豊丘村社会福祉協議会平成30年度第3回理事会及び第2回評議員会が開催されました。理事会・評議員会での承認された議案は次のとおりです。

## 理事会 (平成3年3月14日)

◎第1号議案

平成31年度事業計画について

平成31年度事業予算について

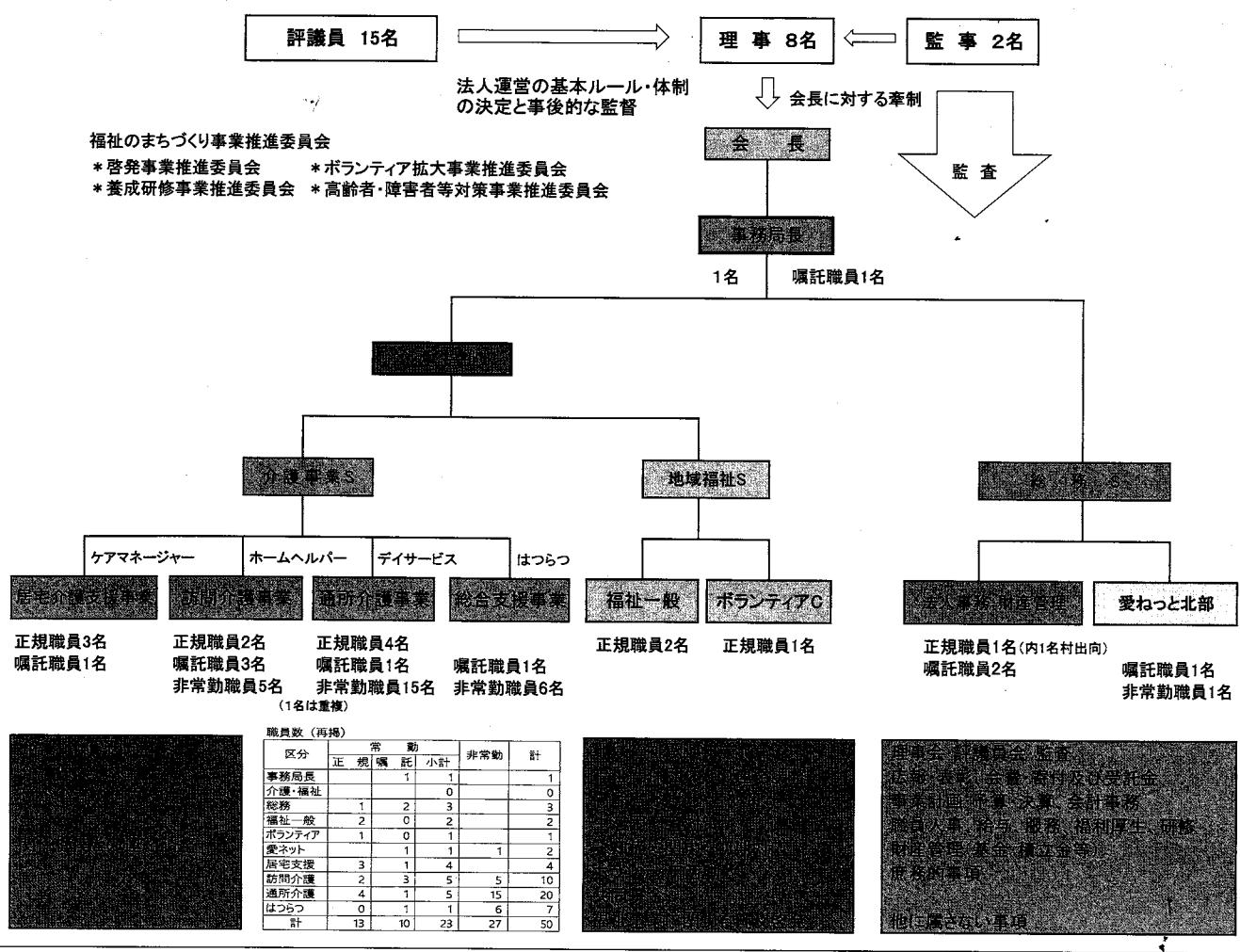
◎第1号議案

評議員会

平成31年度事業計画について

平成31年度事業予算について

# 豊丘村社会福祉協議会組織図



# 平成31年度 豊丘村社会福祉協議会 事業計画

**理 念**

人々の健やかで自立した生活へ向けての支援

**方 鈑**

高齢者も障がい者も安心して暮らせる豊丘村づくり

**1 活動の基本方針**

豊丘村においては、道の駅「とよおかマルシェ」開業やリニア中央新幹線着工など、新たな時代へ向けての取り組みが始まり、地域の活性化への期待が高まっています。

一方、少子・高齢化の進行は依然として続いており、また、格差拡大による様々な社会的弱者の増加も心配されます。

これら高齢者や社会的に弱い立場にある方など、すべての人々が、健やかに希望を持って暮らせる社会づくりが重要な課題となっています。

豊丘村社会福祉協議会では、住みよい地域づくりを目指し、高齢の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、在宅介護支援体制の充実や、すべての住民の皆様の日常生活における困り事に対応した支援体制の整備など、より充実した福祉サービスの提供に努めます。

**2 重点目標**

- (1) 高齢者・障がい者等の生活支援・生きがい対策の充実
- (2) 社会的弱者の支援
- (3) 介護サービスの充実
- (4) 介護予防対策の充実
- (5) ボランティアの育成と活動推進
- (6) 結婚相談事業の充実
- (7) 福祉事業の普及啓発

**3 活動計画**

- (1) 高齢者・障がい者等への支援・生きがい対策の充実
  - ・「豊丘おてこ隊」による独居高齢者・高齢世帯の日常生活支援
  - ・認知症地域支援推進員による認知症の正しい知識の普及啓発、相談・支援
  - ・認知症カフェの開催  
(毎月延べ3回 社協・どんづく・JA長野会)
  - ・ヘルパー訪問による家事等の支援・安否の確認等
  - ・福祉タクシー利用者証の発行と運営管理
  - ・高齢者・障がい者の「希望の旅」事業実施と支援
  - ・高齢者・障がい者の皆様等が組織する団体への協力及び支援
  - ・高齢者ふれあい地域サロン(7地域)の運営支援

- ・「車いす対応軽自動車」の貸出
- ・配食サービスの実施(週1回)
- (2) 社会的弱者の支援
  - ・くらしの相談の実施(民生児童委員・行政相談員連携) 毎月26日(原則)
  - ・豊丘村独自の小口資金  
(くらしの資金・医療貸付金)の取り組み
  - ・生活福祉資金の活用などによる生活困窮者支援
  - ・基幹的社協(飯田市社会福祉協議会)と連携した支援事業の実施
- (3) 介護サービスの充実
  - ・ケアマネージャーによる介護サービス計画の作成
  - ・ホームヘルパーによる訪問介護と生活援助
  - ・デイサービスセンター「ほほえみ」における介護
  - ・介護予防拠点施設「はつらつ」及び「ほほえみ」における通所介護予防サービス
  - ・介護者ふれあい相談の実施  
(村・地域包括支援センターと共に)
  - ・ケアマネージャーによる介護相談実施
  - ・介護保険相談窓口の常設  
(「地域包括支援センター」と連携)
  - ・在宅介護者のリフレッシュのための日帰り小旅行・ケアラーズカフェの開催
  - ・在宅要介護者等のおむつ代補助
- (4) 介護予防対策の充実
  - ・介護予防・日常生活支援総合事業による通所・訪問事業の実施
  - ・ミニデイサービス15地域、(地域主催)への協力支援
  - ・趣味を通じた仲間づくり講座(男性対象)開催
  - ・ふれあい交流の促進(「おいでなんしょ会」「高齢者昼食会」等への補助)
  - ・高齢者スポーツ大会の開催  
(マレットゴルフ大会等)
- (5) ボランティア育成と活動の推進
  - ・ボランティアの育成・研修の実施
  - ・ボランティアニーズの把握、情報発信
  - ・ボランティアの活動援助  
(ボランティア保険、謝金等の補助)
  - ・災害時の支援受け入れボランティアセンターの立て上げ・運営訓練
  - ・飯伊地区ボランティア交流集会の開催
- (6) 結婚相談事業の充実
  - ・村内の結婚希望者に関する情報収集
  - ・「愛ねっと北部」の登録情報を活用したカップリング支援
  - ・近隣市町村との情報交換、交流(「天竜縁結びの会」等)を実施
  - ・イベント、交流等を「愛ねっと北部」と連携し開催
- (7) 福祉事業の普及啓発
  - ・社協報(年4回)の発行
  - ・福祉啓発イベントの開催  
(健康・福祉・介護に関する講演会等)
  - ・福祉のニーズ調査・検討
  - ・赤い羽根共同募金の実施  
(10月から 募金目標額170万円)

# 平成31年度 豊丘村社会福祉協議会予算

総額 225,249千円

## サービス区分別 収入支出予算内訳

(単位:千円)

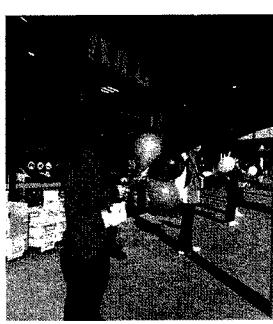
拠点区分	サービス区分	H31年度 予算額	H30年度 予算額	比較増減	備考
法人運営事業	法人運営事務費	20,330	20,321	9	
	地域支援事業	29,829	28,857	972	
	結婚相談事業	972	972	0	
	くらしの相談事業	205	165	40	
	ボランティア事業	2,100	2,000	100	
	福祉のまちづくり事業	25,725	20,550	5,175	福祉タクシー事業+500万
	介護予防拠点施設管理事業	10,500	9,400	1,100	
	共同募金配分金事業	1,415	1,335	80	
介護事業	北部地区結婚相談所事業	4,200	4,234	-34	
	法人運営事業 計	95,276	87,834	7,442	
介護事業	居宅介護支援事業(ケアマネ)	20,117	20,296	-179	
	訪問介護事業(ホームヘルパー)	24,470	26,105	-1,635	
	通所介護事業(ほほえみデイサービス)	70,996	56,147	14,849	
	はつらつクラブ事業 (介護予防通所型サービスA)	13,501	11,617	1,884	
	障がい福祉ホームヘルプ事業	889	462	427	
介護事業 計		129,973	114,627	15,346	
合 計		225,249	202,461	22,788	

## くらしの相談日程(前期)

4月26日(金)  
5月27日(月)  
6月26日(水)  
7月26日(金)  
8月26日(月)  
9月26日(木)  
会場「林里・はつらつ」  
時間 午後7時から9時

## 主な年間事業予定日

5月26日(日)	介護者リフレッシュ事業	11月上旬	福祉まつり
6月1日(土)	飯伊障がい者スポーツ大会	11月下旬(日)	介護者リフレッシュ事業
6月下旬	一人暮らし高齢者希望の旅	2月中旬	社協ゲートボール大会
7月初旬	身体障がい者希望の旅	2月下旬(日)	介護者リフレッシュ事業
8月下旬(日)	介護者リフレッシュ事業	3月初旬	健康と福祉のつどい
10月初旬	災害ボランティア立上訓練	随時	理事会・評議員会
10月下旬	重度身体障がい者希望の旅	4・7・10・1月	社協報発行(年4回)



街頭募金



共同募金の実績		
戸別募金	1,372件	1,322,980円
法人募金	30件	290,500円
職域募金等	11件	47,860円
イベント募金	1件	31,816円
街頭募金	1件	18,186円
その他	9件	33,063円
合計	1,424件	1,744,405円

募金一  
平成30年度  
(10月～12月)のお願いに際しましては、多くの皆様からご協力をいただきありがとうございました。皆様がどうございました。皆様から、希望の旅・花づくり運動の善意の募金は、南・北小学校・中学校への助成金のほか、希望の旅・花づくり運動の助成・ボランティア活動支援・広報の発行等福祉活動費に充てられます。

赤い羽根共同募金のお礼

## オレンジカフェ 認知症カフェ のこな内

認知症カフェは、認知症施設推進総合戦略（新オレンジプラン）に、「…認知症の人やその家族が、地域の人や専門家など相互に情報を共有し、お互いを理解し合う認知症カフェ等の設置を推進する。」とされ、全市町村に設置を目指すことが記されています。

### ・認知症当事者の居場所

### 止

### ・認知症の早期支援の体制づくり

等がオレンジカフェに期待されており、豊丘村では、現在3つのカフェがそれぞれのスタイルで活動をしています。日程については、広報とよおかに掲載をしていますのでご覧ください。

○よりみちカフェ（社協主体）  
第1水曜日 10時～12時  
喫茶enにて開催（4月より場所が変更になります）

○温かサロン（ジェイエー長野会主体）  
第2火曜日

※都合で変更になる場合もあります。（10時～12時）



第3木曜日 9時～11時  
喫茶enにて開催

○ケアラーズカフェ（社協主導）  
要介護者の家族支援として、専用のカフェがあります。介護者同士の交流の場、リフレッシュできる場を提供しています。

○ケアラーズカフェ（社協主導）  
認知症に対して偏見のない、優しい地域に繋がることも目的のひとつとされています。

○かわのカフェ（宅老所どんづく主体）  
第3日曜日 10時～12時  
宅老所どんづくにて開催  
オレンジカフェは、「出会い、語り合い、情報交換する場所」です。地域の方、認知症当事者、家族、専門職等、色々な立場の人が参加することで、

あつたかサロンあぐりにて開催

※ケアラーとは介護者を意味します。

どのカフェも利用に関して予約は必要ありませんが、利用料として100円をいただいているいます。

ご不明な点は、社会福祉協議会地域福祉課（担当宮下）までお問い合わせください。

## 職員異動

平成31年4月1日付

○正規職員  
ボランティアセンター

鳴澤 路代

○主任発令  
訪問介護事業所

主任 三島カズエ

通所介護事業所  
主任 片桐めぐみ

○嘱託職員  
総務課

日吉美由紀  
(再雇用)

訪問介護事業所

河野 彰子  
(再雇用)

通所介護事業所

竹村八千代

## 平成31年度体制 職員紹介



総務課



地域福祉課



居宅介護支援事業所



通所介護事業所 (ほほえみ)



訪問介護事業所



総合支援事業 (はつらつクラブ)

# ボランティアセンターだより No.29

豊丘村ボランティアセンター TEL 35-1122 / FAX 35-1123 E-mail : vcenter-toyooka@mis.janis.or.jp

## 飯伊ロック ボランティア交流研究集会

2月24日、根羽村で飯伊ロックボランティア交流研究集会が開催され、豊丘村から24名の方が参加されました。前回の社協報でお伝えしましたとおり、会場の都合上人数が限られていること、また今年度は豊丘村で開催されることから、研修のため今回は運営スタッフ中心の参加となりました。

今回は「災害ボランティア」をテーマに開催され、講演会の他、被災地で活動する個人ボランティアの方や、松川高校ボランティア部の発表を聞きました。

持ち寄り特産市場では、豊丘村から「豊かな丘」が出店してくださり、手作りの草餅やアップルパイなど豊丘村のおいしい味を届けてくれました。

▶根羽村の演芸グループ  
『天下杉』の皆さん



▶活動発表  
災害ボランティアに関する

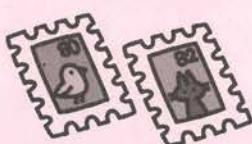


## ボランティアを募集しています！

豊丘村ボランティアセンターでは、下記のボランティアを募集しています。

○タオルや古切手を切っていただける方

- ・切っていただいたタオルは村内の福祉施設で使わせていただきます。
- ・切手は国際協力NGO（ハンガー・フリー・ワールド）を通して、飢餓に苦しむ人々の応援に役立てます。



○託児をしていただける方

- ・村内で行われる講演会や保護者対象の学習会などの際に、未就園児・未就学児の託児をしていただきます。

\*協力していただける方は、豊丘村ボランティアセンター（35-1122）までご連絡ください。

また、タオルや古切手は引き続きボランティアセンターで集めております。譲っていただける方は社協までお持ちください。

## ボランティア活動保険のご案内

ボランティア活動中、または往復途上のケガや損害賠償責任を補償します。

補償期間は、加入日から令和2年3月31日までです。ボランティアセンターに登録していただいた皆様は、基本Aタイプひとり350円に加入します。（保険料は、豊丘村社協が負担いたします）

\*ボランティア行事（サロン・昼食交流会等）の参加者のケガ等を補償する『行事用保険』の取り扱いもございます。

## 豊丘村有償生活支援サービス『豊丘おてこ隊』

支援員  
募集中!

豊丘村有償生活支援サービス「豊丘おてこ隊」が始まって、この4月で1年が経ちました。お陰様で多くの支援員の方が登録してくださり、高齢者の困りごとが少しずつ解決しています。地域の方が支援してくださるので、高齢者の方も安心してお願いができる、たいへん喜ばれています。

これからも、様々な困りごとに対応するために、支援員を募集しております。ぜひ、おてこ隊の支援員に登録をお願いいたします。